

第 5 回/オンライン

キャリアとジェンダー：ハンセンの 4 領域と統合

授業全体の目的

- ・男女共同参画社会について理解し、固定的性別役割分担意識およびアンコンシャス・バイアスの存在、影響について考察する
- ・キャリアをデザインするうえでジェンダーの視点をもつことの意義を理解したうえで、仕事のみならず家庭・学習・余暇地域と含めた全体としてキャリアをとらえる

終了後の学生のイメージ

- ・固定的性別役割分担意識およびアンコンシャス・バイアスについて理解し、これにとらわれずキャリアを展望する態度を身につけている。
- ・就職・結婚等のライフイベントをとりまく状況・環境が男女により異なることをデータに基づき理解している。
- ・ハンセンの理論を用いて、キャリアを「統合」的な視点から自らのキャリアをとらえることができるようになる。

進行の詳細

時間	内容の詳細	備考・留意点他	資料
【講義形式 5 分】	導入 本日のねらい：キャリアを考える うえでジェンダーが関わることを 理解したうえで「統合」の視点か らキャリアを考える。		資料：双 六デー タ集、ワ ークシ ート
【講義形式 20 分】	1. 男女共同参画社会とライフ キャリア ・社会が急速に変化するなかで個 人の生き方も変わり、これまでの 価値観にとらわれずに生き方を考	スライド 4、5	

	<p>えていく必要があること、その価値観の一つにジェンダーの問題があることを説明する。</p> <p>ワークシート【1】への回答 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」への考えについての選択肢・理由を回答させる。</p> <p>男女共同参画社会および阻害要因としての固定的性別役割分担意識について説明する。</p> <p>ステレオタイプに関わる心理： ステレオタイプに関する心理学の知見①差異の強調効果：グループに分けられるとグループ間の差はより大きく認知されること。 ②選択的認知：自分の信念に一致する情報を選択的に取り入れること。この1つとして「予言の自己成就」（周囲が期待したように人が成長すること。例えば教師がある生徒を「学力が伸びる」と期待することでその生徒の学力が実際に伸びる結果になること。これは教師のその生徒への関わり方が、より期待の方向への変化を促すものになることによるとされている）などの例を紹介する。 ③ステレオタイプ脅威：ステレオタイプが例えネガティブなもので</p>	<p>スライド6 ワークシート【1】への記入</p> <p>スライド7、8</p> <p>スライド9～12</p>	
--	---	---	--

	<p>あってもそこから外れることに脅威を感じ、ステレオタイプに沿った行動をとる傾向があること。以上3点を紹介し、これを固定的性別役割分担意識にあてはめた場合の影響について考察を促す。</p> <p>アンコンシャス・バイアスについて説明し、自らの気づきを促す。</p>	スライド 13	
<p>【講義形式 45分】</p> <p>うちワーク20分</p> <p>グループワーク 20分</p>	<p>2. ライフイベントとジェンダー～人生双六データ集から</p> <p>双六データ集0.性別役割意識、12-3. 男女格差ランキングから、性別役割意識には反対する割合が高いなか国際的にみて格差が大きい現状について考察させる。</p> <p>データ集からライフイベントに関するデータを取り上げ、ライフイベントにおいて男女がおかれた状況・特徴について考察させる。</p> <p>グループワーク：【2】を共有し、男女共同参画社会におけるキャリアの課題について話合わせる。</p>	<p>スライド 15～17</p> <p>スライド 18～24</p> <p>ワークシート【2】</p>	<p>・人生双六データ集</p> <p>・ワークシート</p>
<p>【講義形式 20分】</p>	<p>3. これからの生き方＝ライフキャリアを考える</p> <p>Super のライフキャリアレインボーから、生涯にわたる複数の役割の連なりとしてのライフキャリア</p>	スライド 26～27	<p>4 領域シート、統合シートを参照</p> <p>(今回シ</p>

	<p>について説明する。キャリアを長期的輻輳的にとらえる視点を伝える。</p> <p>ハンセンの四領域の<統合> 仕事、愛・家族、学習、余暇・地域 4 領域の重なりからライフキャリアへの理解を深めるとともに、ジェンダーの視点から考察させる。</p>	スライド 28～33	<p>ートの記入は行わないが後の回で実施するための視点とする)</p>
【講義形式 10 分】	<p>まとめ：ライフキャリアの「統合」を新たな視点として、次回以降のワークや共働き家庭での体験において意識することを伝える。</p> <p>次回についての説明</p>	スライド 34	